

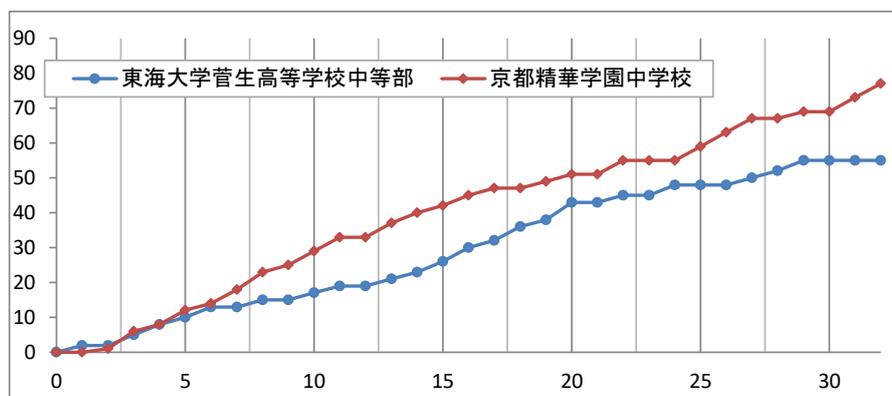
平成30年度全国中学校体育大会 第48回全国中学校バスケットボール大会



JUNIOR HIGH SCHOOL
SPORTS FESTIVAL
2018

決勝トーナメント男子	東海大学菅生高等学校中等部	55	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>—</td><td>23</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>7</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	15	—	23	15	—	22	18	—	10	7	—	22	—			77	京都精華学園中学校
15	—	23																		
15	—	22																		
18	—	10																		
7	—	22																		
—																				
主審	福岡 敏徳	(東京都) ●		○	(京都府)															
第1副審	足立 尚隆																			
第2副審	岡井 元毅																			

No. 24YA5 日時: 2018年8月24日(金) 14:50 会場: 維新百年記念公園スポーツ文化センター



東海大学菅生高等学校中等部

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 水品 拓也 (C)	9	1	1	4	3
5	* 須藤 柗	13	1	5	0	2
6	* 守屋 大	5	1	1	0	2
7	宮川 大志	-	-	-	-	-
8	* 大柳 亮太	3	0	1	1	2
9	山本 正彦	-	-	-	-	-
10	川俣 雄大	3	0	1	1	3
11	高橋 昂汰	-	-	-	-	-
12	* 内田 蒼	22	0	9	4	2
13	小関 哉太	-	-	-	-	-
14	日笠 知哉	-	-	-	-	-
15	北澤 爽	-	-	-	-	-
16	原 湧光斗	-	-	-	-	-
17	小野 司	-	-	-	-	-
18	竹内 龍ノ介	-	-	-	-	-
コーチ	小山 正男					
合計		55	3	18	10	14

京都精華学園中学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 岩屋 頼 (C)	23	0	9	5	2
5	* 喜多 玄輝	24	0	10	4	1
6	畑野 隼平	2	0	1	0	0
7	上野 嘉一	4	0	2	0	0
8	* 内山 創仁	7	0	2	3	4
9	* 東 拓志	10	2	2	0	0
10	岡崎 日向	-	-	-	-	-
11	谷口 侑也	-	-	-	-	-
12	稲童丸 大輝	-	-	-	-	-
13	辻 永遠	0	0	0	0	1
14	* 高山 鈴琉	7	1	2	0	4
15	高木 良太郎	-	-	-	-	-
16	西村 星汰	-	-	-	-	-
17	岩本 悠太	-	-	-	-	-
18	佐々木 颯太	-	-	-	-	-
コーチ	奥田 翔					
合計		77	3	28	12	12

* …スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

ベスト4をかけて、東京東海大菅生と京都精華の対戦。開始2分過ぎ、京都精華#14の3Pに対し、すぐに菅生#6も3Pを入れ返したところから両チームのオフェンスに火がついた。菅生は#12のポストプレーにパワーがあり、京都精華も#14や#5のプレーを中心にバランスよく得点を重ね、菅生15-23京都精華。2Q、ペイントエリア内でプレーしたい菅生のドライブインや#12のポストプレーに対するディフェンスを丁寧に頑張り続ける京都精華が、#5のバスケットカウントや#14を起点とした攻撃で、徐々に差を広げていく。菅生30-45京都精華で前半終了。

3Q菅生は再び#12のパワーあるポストプレーで差を詰めていく。菅生#5の3Pやゴール下のシュートも決まり8点差までいくが、京都精華も#4、#5のオフェンスで応戦し、菅生48-55京都精華で4Qへ。4Q開始早々、京都精華#9が3Pを決め、差は再び2桁へ。そこから京都精華がまた差をじわじわ広げ、菅生50-65となったところで菅生がタイムアウト。しかし流れは変わらず、菅生は速攻からのシュートを何本か落としたことも響いて追い上げられず、菅生55-77京都精華で、京都精華が準決勝へと駒を進めた。

記事者 金田博文 (所属) 山口県中体連バスケットボール専門部